

地域づくり活動の行動計画

高松赤十字病院

2024年度
第1回地域緩和ケア連携調整員研修 ベーシックコース

【チームメンバー】

参加施設・所属	氏名(職種)
呼吸器科部/緩和ケア内科部	林 章人(医師)
看護部	安藤 智洋(看護師)
医療社会事業部	向井 美保(医療ソーシャルワーカー)

①地域の課題

- 緩和ケア病棟が少ない。
- 訪問診療をしている先生も少なく、紹介先が片寄る。
- 在宅療養するのが難しく、入院継続することも多い。
- 退院後の患者の経過がわからない。在宅側が何に困ったかわからない。

②どんな地域を目指すか

- 患者が希望した場所で療養できる地域を目指したい
- 地域と協力して医療体制を構築していく

③ 目指す地域を実現するために取り組むべきこと

- ・ ACPの推進
→ ACPに関する研修会を開催する
- ・ 患者の希望を共有するため、退院支援カンファレンスに主治医を含めた多職種に参加を促す。
→ 退院支援カンファレンスの方法の変更
- ・ 退院後の患者の経過や紹介先医療機関のニーズを知る。
→ 退院前後訪問の実施

④行動計画 ⑤目標達成時期

	誰が	何を	どのように	いつまでに
ACPIに関する研修会を開催する	緩和ケア医師 看護師 MSW	研修会	院内多職種へ研修	2025年度中に
退院支援カンファレンスの方法の変更	看護師 MSW リハビリスタッフ	カンファレンス	医師を含めた多職種が参加できるように調整する	2025年3月までに
退院前後訪問の実施	MSW 看護師 リハビリスタッフ	医療機関への訪問	多職種による訪問	2025年3月までに